

■研究・実践の課題（テーマ）

災害時支援キッチンカーの衛生管理システムの構築

■主任研究者 岸本満

■共同研究者 今井幸子、仙田知子

■研究・実践の目的、方法、結果、考察や提案等の概要

目的：日本赤十字社愛知県支部と本学の連携協定（2014～）に基づく共同プロジェクト「キッチンカーを活用した災害時の食の支援」が 2021 年度より行われてきた。このプロジェクトはキッチンカーを活用した避難所等の要配慮者（高齢者、母子、慢性疾患患者等要配慮者等）に対する支援事業を推進することが目的で、本学は①HACCP の考え方を取り入れた衛生管理の実施と②災害時の炊き出しメニュー（支援対象者ごと）の作成に関する事項を担当してきた。本学が日本赤十字社愛知県支部との共同プロジェクトを実施するにあたり、日赤愛知県支部のキッチンカー（4 トン）の運行、運用における課題を明らかにし、とりわけ衛生管理システムの実装を目的に衛生管理計画、食品安全マネジメントマニュアル、各種衛生マニュアルやチェックリスト等の管理ツール（衛生管理マニュアル）を制作することを目的とした。

方法：HACCP の考え方に基づく衛生管理システムを計画（P）、衛生管理計画を実践（D）、記録、観察により評価し課題を抽出（C）、衛生管理マニュアルの修正、改善（A）を行った。

結果：(1) キッチンカーでの試作（計 4 回）に参加し、マニュアルを修正した。

1 回目（4/23）→手袋の交換のタイミングに関する項目を追加

2 回目（5/29）→食材の保管方法について→掲示物を張り、一目でわかるようにした

3 回目（7/2）→チェックリスト記入のタイミング→タイムテーブルを作成し、だれがいつどのタイミングで記入をするか明確化

4 回目（7/31）→再構成、再デザイン、再編集の方針を策定、マニュアルやチェックリストの再検討

(2) キッチンカーの衛生管理マニュアル更新

Ver.01：2022 年 4 月 15 日、Ver.02 5 月 20 日、Ver.03 7 月 02 日 Ver.04 7

月 31 日

Ver.05：2023 年 1 月 18 日

(3) 合同祭での中間発表（環境衛生学研究室 4 年生による）＜別紙添付＞

災害時を想像し、様々な状況を想定した衛生管理のためのマニュアルが重要であり、Ver.05 への改訂を行うとともにデジタル化、デジタル教材の制作を計画した。

考察：年度内に衛生管理マニュアルの Ver.06 への更新、およびデジタル化が完了できなかったのもので

引き続き環境衛生学研究室の 4 年生と協働して 2023 年度中に完成させたい。